YouTube

2021年度版
新型コロナウイルス感染症やワクチンに関するYouTubeの日本での取り組み

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響で日常生活への制約が長引く中、世界中でワクチンの導入が進んでいます。

YouTube は社会の動きを注視しながら、その時々でユーザーが必要とする情報や取り組みに柔軟に対応し、コミュニティの安全を第一にサービスを提供しています。

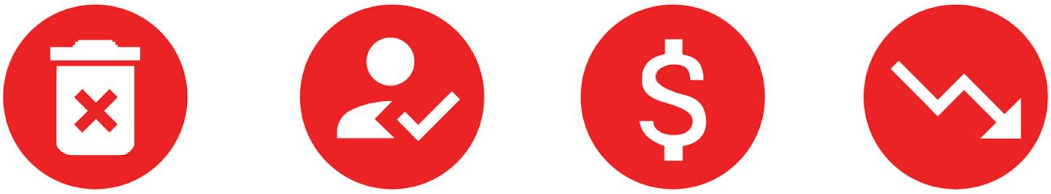
この資料では、誤情報を削除し、信頼できるコンテンツを見つけやすくするための取り組み、また日本の YouTube クリエイターやアーティストと協力して実施したキャンペーンなどについて詳しく紹介します。

- 信頼できる情報の提供
- 新しい生活様式とともに
- YouTube の活用例

2020 年度版はこちら

信頼できる情報の提供

2020 年以降、多くの人が新型コロナウイルス感染症やワクチンに関連する情報の検索に YouTube を活用しています。そのため、感染症が広がり始めた当初から、YouTube は信頼性の高い情報を見つけやすくしたり、
誤った情報を取り除くことに全力を尽くしています。これらの取り組みは、YouTube の 4 つの Responsibility（責任）が力を発揮する最も重要なエリアのひとつでもあります。



REMOVE
違反コンテンツを「**削除**」する

RAISE
信頼できるコンテンツを「**見つけやすく**」する

REWARD
コンテンツ制作者に「**報いる**」

REDUCE
間違った情報の拡散を「**減らす**」

1. 誤った情報の削除:

YouTube は、米国時間 2021 年 9 月 29 日、ワクチンに対して医学的に誤った情報に関するポリシーを拡大しました。これは、地域の公衆衛生当局や世界保健機関(WHO)により安全性や効果が確認された上で投与されているワクチンに関する新しいガイドラインに基づいています。

科学的なプロセスについての自由な対話や討論の重要性を踏まえ、ワクチン政策や新たなワクチンの治験、過去のワクチンの成功や失敗を扱うコンテンツは引き続き例外的に許可します。また、他のコミュニティガイドライン違反や、チャンネルでのワクチン忌避の継続的な助長が見受けられない限り、ワクチンに関する個人的な体験談が含まれる動画は許可します。

以来、新型コロナウイルス感染症ワクチンに関する YouTube のポリシーに違反した動画は 13 万本以上 (2021 年 9 月 30 日現在) 削除されています。また、 YouTube の公認報告者プログラム[1]に、新型コロナウイルス感染症や新型コロナウイルスワクチンに関する正確な情報を届ける医師のプロジェクト、 コロワくんサポーターズ[2]等の専門家が新しく加わりました。公認報告者から YouTube に報告される動画は、優先的に審査の対象となるほか、継続的な意見交換等が実施されます。

[1] https://support.google.com/youtube/answer/7554338?hl=ja
[2] https://corowakun-supporters.studio.site/

2. 信頼できるコンテンツの表示：

信頼できる情報源からのコンテンツを YouTube 上で見つけやすくするため、ホーム画面でCOVID-19 関連ニュースを表示したり、 感染予防措置について説明する動画やワクチンについて説明した動画をまとめた独自の再生リストを注目動画としてホーム画面に表示しています。

また、関連コンテンツを検索または視聴した際には、情報パネル（内閣官房ホームページや厚生省ホームページに誘導）を表示することで、最新の保健情報を確認できるような仕組みも導入しています。

AMTGB+/7 ^ N S ű L Ő N Ṣ

情報パネルとトップページのバナー プレースメント

3.ガイドラインのボーダーライン上のコンテンツの拡散抑制：

コミュニティ ガイドライン違反ではないものの違反すれすれであるコンテンツは、YouTube のコンテンツの1% にも届きません。YouTube は 2019 年に、ユーザーに有害な方法で誤った情報を伝える可能性がある、ガイドラインのボーダーライン上のコンテンツや動画がおすすめとして表示される割合を減らす[3]取り組みを始めました。そして、この取り組みのすべてが、YouTube でCOVID-19 やワクチンに関する誤った情報の拡散を抑制する[4]ための土台となっています。これからも YouTube は、おすすめ動画システム[5]が絶えず適切に機能し、ユーザーに最大限に有用で有益な体験をお届けできるよう努めます。

4.「ちゃんと知ることから、はじめよう」ワクチンキャンペーン

ワクチン接種をするかどうかを考えるきっかけを作り、自分にとって適切な判断をするのに役立つ情報を提供することを目的としたキャンペーン[6]を実施しました。 YouTube 日本公式チャンネルでは、信頼できるソースから集めた役立つワクチン関連動画をまとめた 再生リスト[7]を公開しており、その中にはクリエイターと専門医のコラボレーションや、ワクチン接種推進担当大臣河野太郎氏（当時） と YouTube CEO スーザン・ウォジスキの 対談[8]なども紹介しています。

[3] https://youtube-jp.googleblog.com/2019/12/4-responsibility-raising-reducing_10.html
[4] https://youtube-jp.googleblog.com/2020/03/blog-post.html
[5] https://youtube-jp.googleblog.com/2021/10/youtubesrecommendationsystem.html
[6] https://www.youtube.com/watch?v=1qVHXDfeCnA
[7] https://www.youtube.com/playlist?list=PLQntWbrycbJeSKYqco2gZPTrP23gVBoZX
[8] https://youtu.be/Om7sx23ceLc

新しい生活様式とともに

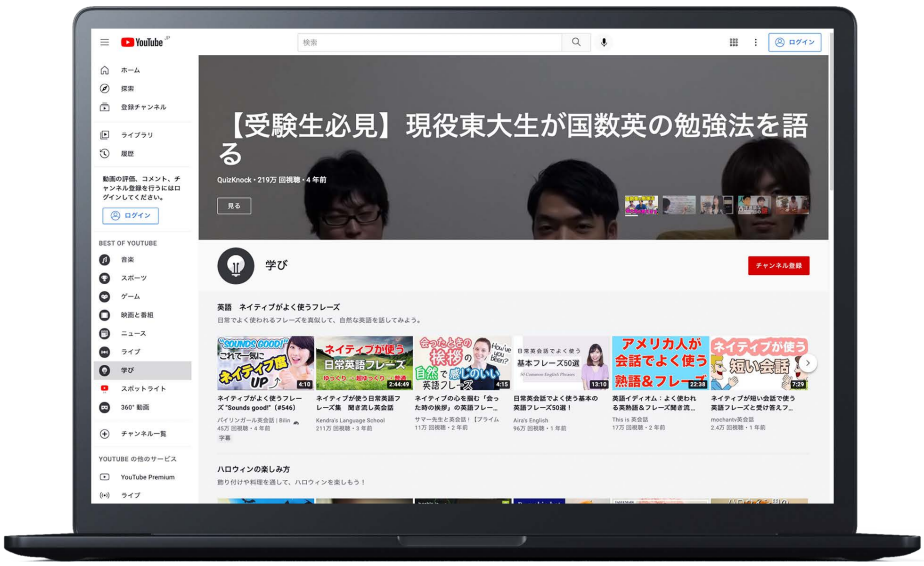
緊急事態宣言の発令に伴い多くの学校が休校となった中、教師や生徒、また保護者の方がさまざまな学習コンテンツを使用して家庭での学習を補えるようにYouTube 学びチャンネル[9]の提供を開始しました。

とある男が授業をしてみた[10]、予備校のノリで学ぶ「大学の数学・物理」[11]、バイリンガール英会話 (Bilingirl Chika)[12]などを筆頭に、人気のある学習チャンネルから数学、英語、科学、歴史、芸術などに関するコンテンツを紹介しています。

さらに、フィットネスやガーデニング、DIY など、自宅での生活を豊かにする幅広い学びの動画もご覧いただけます。Ipsos 社の調査では、回答者の77 %が昨年、新しいスキルを学ぶためにYouTube を利用したと答えています。

また、昨年は文部科学省と協力して、休校中の生徒を支援すべく、全国の学校の先生によるカリキュラムベースの授業動画を配信する文部科学省 子供の学び応援チャンネル[13]を立ち上げ、3 ヶ月間で 45本の動画を投稿し、7 万回再生されました。12 歳以下の生徒を対象にした授業動画は YouTube Kidsにも掲載され、休校中でも学習を続けられるように家族や子どもたちを支援しました。

今年は、GIGA スクール構想で一気に加速した教育のデジタル化のサポートを行うための学校向けパンフレット[14]の発行や、学校の校長先生と YouTube 教育系クリエイターを招いた教育関係者向けの YouTube セミナー[15]開催 (Google for Education 主催) 等を通して、継続的に YouTube の学び分野の成長に取り組んでいます。



YouTube Learning 学びのチャンネル

[9] https://www.youtube.com/learning
[10] https://www.youtube.com/user/toaruotokohaichi
[11] https://www.youtube.com/c/yobinori
[12] https://www.youtube.com/user/cyoshida1231
[13] https://www.youtube.com/channel/UCQYtA77UD170Romito-HC7A
[14] https://services.google.com/fh/files/helpcenter/yt_for_schools_mar2021.pdf
[15] https://events.withgoogle.com/gfe-summer2021/

新しい生活様式とともに

新型コロナウイルス感染症の影響で生活様式が大きく変化し、また行動が制限される中でも、人々は YouTube を通じてクリエイティブな方法で世界と繋がろうとしてきました。そういった新しいニーズに応えるために YouTube が日本で行った施策をご紹介します。

The Stage Lives On

#家で一緒にやってみようキャンペーン:

YouTube は、日本のクリエイターやアーティストと協力して#家で一緒にやってみようキャンペーン[16]を展開しました。感染拡大防止のための外出自粛を呼びかけたり、家にいながら有意義な時間を過ごすための視聴回数は 3 千万に上り、運動編[17]、セッション編[18]、料理編[19]などの再生リストも数多くのユーザーに視聴されました。 2020 年のゴールデン ウィーク期間中は、さまざまなエンターテイメント動画（#家で一緒に動物園や水族館を楽しもう編[20]、こどもの日を祝おう編[21]、アニメを楽しもう編[22]、文学を楽しもう編[23]など）を宣伝し、非常事態宣言の中でも大型連休を楽しめるような取り組みを行いました。

デジタル イベントの支援:

YouTube ではデジタル イベント プレイブック[24]とライブ配信クイック スタートガイド[25]を作成しました。また、クリエイターやアーティストが広告以外からもさまざまな方法で収益を得られるような取り組み[26]のサポートも引き続き拡大しています。

The Stage Lives On: YouTube活用トレーニング

YouTube は音楽・エンタメ業界パートナー様に向け、YouTube活用促進トレーニングコンテンツ[27]を用意しました。本トレーニングは、新型コロナウィルス感染症の影響によりコンサートやイベント開催の機会が失われていることを受け、YouTube の活用によって音楽・エンタメ業界パートナー様を支援させていただくことを目的としています。
YouTube への動画投稿やライブ配信の方法を軸に、プロモーション戦略の構築方法からファン獲得方法、コンテンツの収益化、そして実践的な撮影方法のノウハウまで、各分野のスペシャリストがご紹介いたします。
また、経済産業省が実施するJ-LODlive　をご活用の事業者様が本トレーニングを通じて、より効果的にコンテンツをデジタル化できるよう意図した内容も含まれております。

[16] https://youtu.be/_ZRp7KYXM1A
[17] https://www.youtube.com/playlist?list=PLQntWbrycbJdEYASqSI7Qo2MkpLWI6h_X
[18] https://www.youtube.com/playlist?list=PLQntWbrycbJcLvMA-3jHoS8VXFM0u97Ho
[19] https://www.youtube.com/playlist?list=PLQntWbrycbJcFjTbH-2H-olq8UXacjHv9
[20] https://www.youtube.com/playlist?list=PLQntWbrycbJeCPk1fl_gN3pWwOX90Jaq9
[21] https://www.youtube.com/playlist?list=PLQntWbrycbJePZPZGm7TwpH4yiYXRKqql
[22] https://www.youtube.com/playlist?list=PLQntWbrycbJfBdVJ7hVGrXP3nz4YdJ8CG
[23] https://www.youtube.com/playlist?list=PLuXL6NS58DywXACpHTMmg6eklhy3SdLFu
[24] https://kstatic.googleusercontent.com/files/cdb05251deac1d0aae55a26fab0e3d1734009501b850b0cd6ef91cf74e91480656a5fdef972509959a174666322b20e99058031c346c0919b0c76d9c61cf99a4
[25] https://forjapan.withgoogle.com/static/pdf/YouTube_Live.pdf
[26] https://youtube-jp.googleblog.com/2021/08/monetization.html
[27] https://eventsonair.withyoutube.com/events/stage-lives-on

YouTube の活用例

さまざまな日本のクリエイターが YouTube を活用し、新型コロナウイルス感染症やワクチンに関する情報を配信しました。感染拡大防止を呼びかけるメッセージ、自身が持つ疑問の専門家への投げかけ、公的機関とのコラボレーションなどの活動をご紹介します。

HikakinTV :

日本を代表する YouTube クリエイターのひとりであるヒカキンと東京都知事の小池百合子氏の対談動画[28]が公開され、COVID-19 に関する信頼できる情報を幅広い視聴者に向けて配信しました。この動画は、当時日本の YouTube の急上昇動画第 1 位となり、1,130 万回以上の視聴回数を生み出しました。加えて、「コロナ医療支援募金」は 3 億円を超える募金[29]が集まり、自身もこれに 1 億円を寄付しています。

はるあん :

学校の休校やレストランの休業による影響を受けて乳製品の消費量が低下したことを背景に、日本で大人気の女性料理クリエイターのはるあんは、農林水産省とコラボレーションし、酪農家支援のための料理動画[30]を公開しました（視聴回数は公開から 3 ヶ月で 100 万回以上）。

はじめしゃちょー:

登録者数が 900 万人を超えるクリエイターのはじめしゃちょーは、河野太郎大臣(当時)を訪問しワクチンにまつわる疑問を解消する対談動画[31]を配信しました。動画は 560 万回の視聴回数、2 万件以上のコメントを生み出し、若年層の視聴者にワクチンについて考えるきっかけを提供しました。

くれいじーまぐねっと:

女性3人組のクリエイターくれいじーまぐねっとは、産婦人科専門医をゲストに迎えて、ワクチンについてじっくり学ぶ動画[32]を公開しています。「ワクチンは避妊になる？」「生理中にワクチンを打っていいの？」「ワクチンと妊娠の関係性は？」など、女性目線で沢山の疑問を投げかけています。

[28] https://youtu.be/ofCsslfc-So
[29] https://youtu.be/X-Syv5upkKQ
[30] https://youtu.be/wYRW2-b3Nco
[31] https://www.youtube.com/watch?v=nnhKqP6Coxk
[32] https://youtu.be/fKUg5XF3-OI